



図-1 堰堤箇所位置図



写真-1 出水前の砂防堰堤(上流側)の状況



写真-2 出水後の砂防堰堤(上流側)の状況

災害発生日：令和5年6月2日(推定)
降雨状況：連続雨量 259mm(6月1日18時～3日1時)
時間最大雨量 74mm(6月2日8時～9時)
※久保雨量観測所(国土交通省設置)

発生箇所：徳島県三好市東祖谷久保
崩壊状況：土砂・流木捕捉量 約350m³(概算)
状況：令和5年台風2号及び梅雨前線に伴う大雨により流木を伴う土石流が発生しましたが、発生箇所下流に四国山地砂防事務所(国)により透過型砂防堰堤が整備されており、土砂・流木を捕捉。
四国最高峰の剣山への主要アクセス路である国道439号線や、地域住民の生活基盤として重要な橋梁への被害を未然に防止し、効果を発揮しました。



写真-3 砂防堰堤上流の鋼製スリット付近に堆積した土砂・流木の状況



写真-4 砂防堰堤上流の河道に堆積した土砂・流木の状況